

# 中小企業景気動向調査（県西地区版）

令和6年10～12月期実績と令和7年1月～3月期見通し  
 ≪特別調査≫2025年（令和7年）の経営見通し

前期（令和6年 7月～令和6年 9月期 実績）  
 今期（令和6年10月～令和6年12月期 実績）  
 来期（令和7年 1月～令和7年 3月期 予想）

## 調査方法

- 調査日 令和6年12月上旬
- 調査地域 小田原市、南足柄市、秦野市、足柄上郡、足柄下郡、中郡
- 全調査先数 当庫取引先318社
- 調査対象 当庫取引先313社  
 （製造業27.5%、卸売業10.9%、小売業16.6%、サービス業18.8%、建設業18.2%、不動産業8.0%）
- 有効回答率 98.4%
- 分析方法 各質問項目で、「増加（上昇）」したとする企業が全体に占める構成比と、「減少（下降）」したとする企業の構成比との差（DI・判断指数）を中心にして分析を行いました。

## 業種別業況天気図（県西地区）

	令和5年 10月～12月	令和6年 1月～3月	令和6年 4月～6月	前期 令和6年 7月～9月	今期 令和6年 10月～12月	来期見通し 令和7年 1月～3月
総合						
製造業						
卸売業						
小売業						
サービス業						
建設業						
不動産業						



# 総合

## 景況

### 業況DI、売上DI、収益DIはそれぞれ大幅に改善

#### 業況DI

今期

来期



前期比15.9ポイント改善の1.0となり、前回調査時の今期予想DIである▲4.9を上回り、前年同期DIの3.9を下回りました。  
業種別では製造業、卸売業、小売業、サービス業、建設業は改善、不動産業は悪化となりました。  
また、来期については、9.3ポイント悪化の▲8.3となる見通しです。

#### 売上DI

今期

来期



前期比14.7ポイント改善の16.6となり、前回調査時の今期予想DIである11.7を上回り、前年同期DIの13.8も上回りました。  
業種別では製造業、小売業、サービス業、建設業は改善、卸売業、不動産業は悪化となりました。  
また、来期については、24.6ポイント悪化の▲8.0となる見通しです。

#### 収益DI

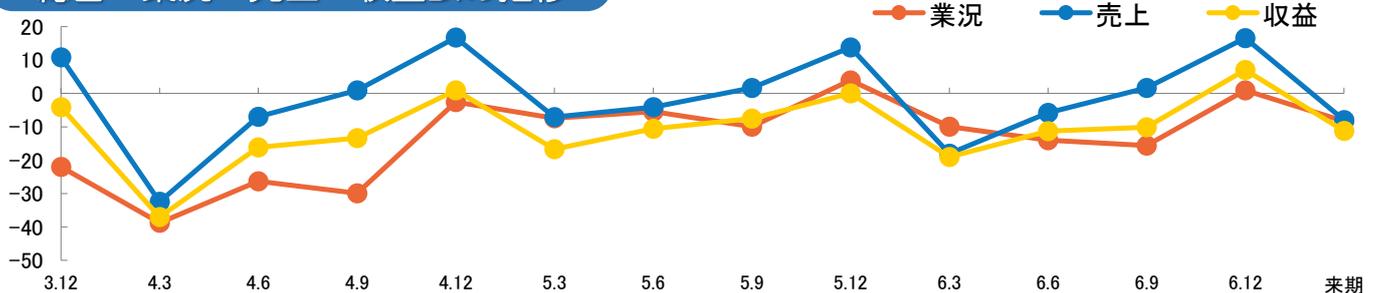
今期

来期



前期比16.7ポイント改善の7.0となり、前回調査時の今期予想DIである▲1.0を上回り、前年同期DIの0.0も上回りました。  
業種別では製造業、小売業、建設業は改善、卸売業、サービス業、不動産業は悪化となりました。  
また、来期については、18.2ポイント悪化の▲11.2となる見通しです。

### 総合 業況・売上・収益DIの推移



### 地区別のDI

#### 業況DI・地区別推移

地区	6.9	6.12	(前期比)	来期	(今期比)
小田原中央	▲ 20.3	▲ 2.4	18.0	▲ 8.7	▲ 6.4
小田原川東・中郡	▲ 21.6	▲ 1.9	19.6	0.0	1.9
足柄上郡・秦野	▲ 13.1	▲ 9.4	3.7	▲ 13.8	▲ 4.4
足柄下郡	▲ 2.0	30.6	32.7	▲ 10.2	▲ 40.8

#### 売上DI・地区別推移

地区	6.9	6.12	(前期比)	来期	(今期比)
小田原中央	0.8	17.3	16.5	▲ 4.7	▲ 22.0
小田原川東・中郡	▲ 2.0	19.2	21.2	▲ 2.0	▲ 21.2
足柄上郡・秦野	▲ 3.6	2.4	5.9	▲ 7.1	▲ 9.4
足柄下郡	16.3	36.7	20.4	▲ 24.5	▲ 61.2

#### 収益DI・地区別推移

地区	6.9	6.12	(前期比)	来期	(今期比)
小田原中央	▲ 13.7	9.4	23.2	▲ 6.3	▲ 15.7
小田原川東・中郡	▲ 6.0	0.0	6.0	▲ 11.8	▲ 11.8
足柄上郡・秦野	▲ 17.9	▲ 5.9	12.0	▲ 8.2	▲ 2.4
足柄下郡	8.2	30.6	22.4	▲ 28.6	▲ 59.2

#### 業況DI推移

業況DIはすべての地区で改善となりました。  
また、来期の業況DIについては、小田原川東・中郡地区では改善、それ以外の地区では悪化となる見通しです。

#### 営業店のコメント

##### 小田原中央地区

- 建設業や製造業(特に食品)では売上増加の見方の一方、不動産業や卸売業については売上は横ばい・減少という予想になっている。
- 観光関連の事業者は見通しが明るく設備更新にも旺盛だが、小売業は度重なる仕入価格の高騰に価格転嫁が追い付かない状況である。

##### 小田原川東・中郡地区

- 経費負担のみならず各種規制やコンプライアンス等、事業運営自体の抜本的見直しが迫られる環境になっている。
- 製造業においては、自動車関連部品で受注減少が続く一方で、半導体関連では受注量が増加または回復するなど、製品により明暗が分かれる。

##### 足柄上郡・秦野地区

- 今後繁忙期に向かう企業が多く、人手不足が深刻化するという見通しを持つ。
- コスト増加への対策として、DX化や連携先の模索など、生産性向上による利幅確保に取り組んでいる。

##### 足柄下郡地区

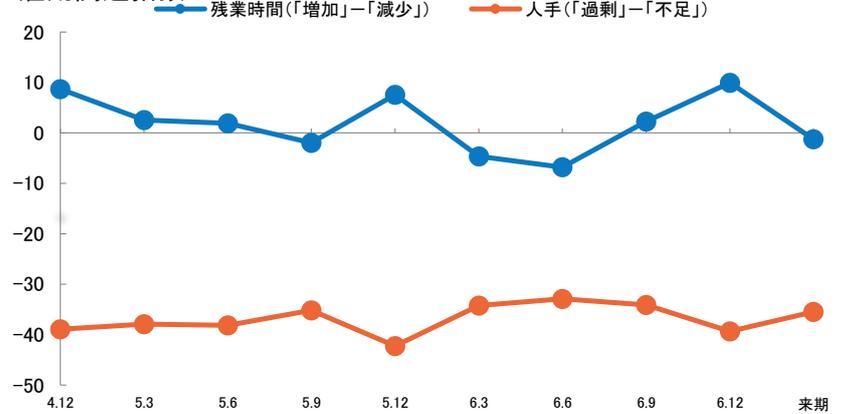
- 観光地における飲食店や宿泊業は、紅葉等の観光客のハイシーズンに伴い、売上が増加傾向にある。
- 湯河原の観光業は11月が最も忙しい時期となるが、箱根・熱海と比べてインバウンドを取り込めていないため、全体として昨年の90%程度の売上となる。

## 雇用

残業時間DIは前期比7.3ポイント上昇の9.9となり、人手DIは前期比5.2ポイント低下の▲39.4となりました。残業時間は増加し、人手不足感は強まりました。

なお、来期については残業時間DIは11.2ポイント低下の▲1.3となり、人手DIは3.9ポイント上昇の▲35.5となる見通しであり、残業時間は減少し、人手不足感は弱まる見通しです。

## 雇用関連指数

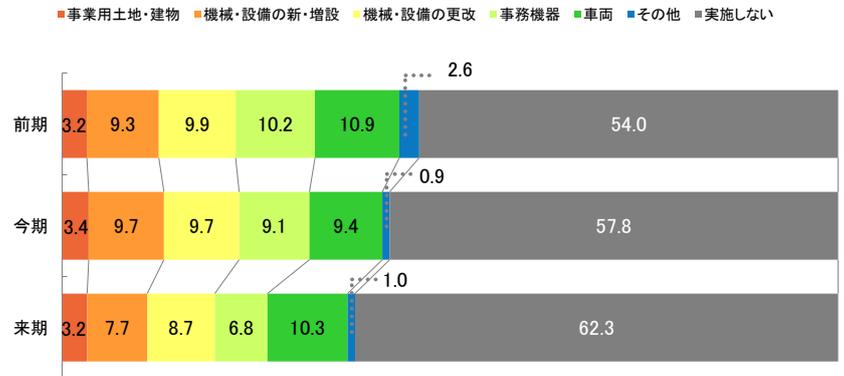


## 設備投資

今期の設備投資の実施状況については、「事業用土地・建物」・「機械・設備の新・増設」は増加した一方で、「機械・設備の更改」・「事務機器」・「車両」・「その他」は減少となりました。なお、「実施しない」は増加し、設備投資意欲は低下しました。

来期の設備投資の実施予定については、「車両」・「その他」は増加となる一方で、「事業用土地・建物」・「機械・設備の新・増設」・「機械・設備の更改」・「事務機器」は減少する見通しです。なお、「実施しない」は増加し、設備投資意欲は低下する見通しです。

## 設備投資の実施状況(複数回答、単位: %)

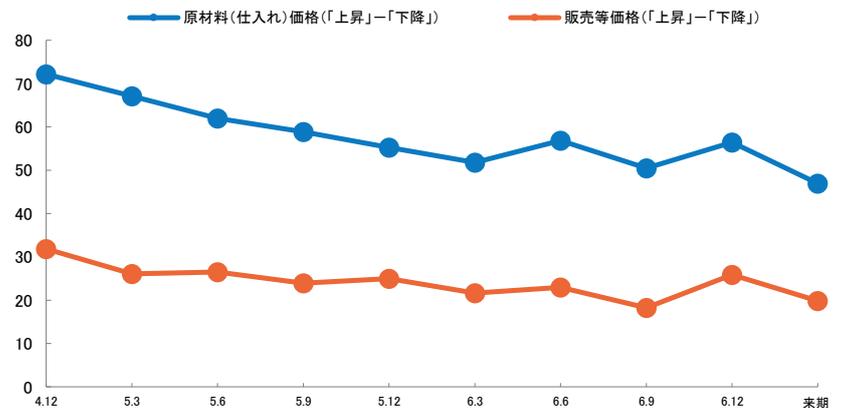


## 販売・仕入価格

販売等価格DIは前期比7.8ポイント上昇の25.9となり、原材料(仕入れ)価格DIは前期比5.9ポイント上昇の56.4となりました。

なお、来期については、販売等価格DIは6.0ポイント低下の19.9となり、原材料(仕入れ)価格DIは9.5ポイント低下の46.9となる見通しです。

## 価格関連指標

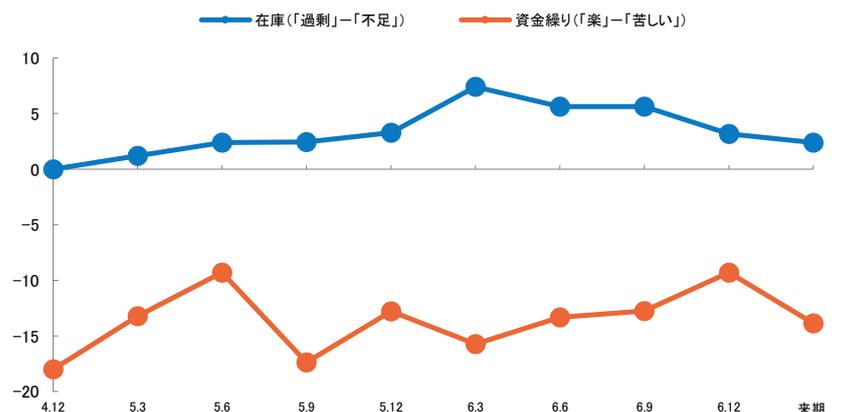


## 在庫・資金繰り

在庫DIは前期比2.4ポイント低下の3.2となり、資金繰りDIは前期比3.4ポイント上昇の▲9.3となりました。

なお、来期については、在庫DIは前期比0.8ポイント低下の2.4となり、資金繰りDIは4.6ポイント低下の▲13.9となる見通しです。

## 在庫・資金繰り指標



好調←

→低調

改善

横這い

悪化

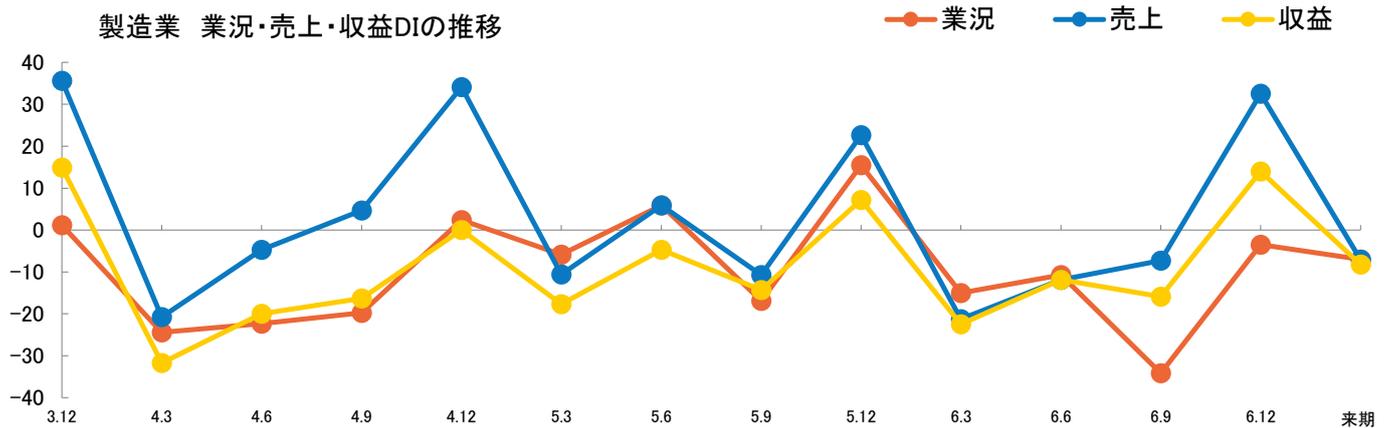
# 製造業

## 景況

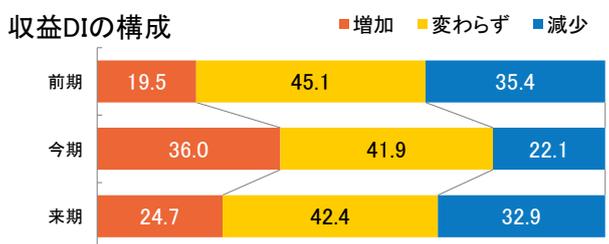
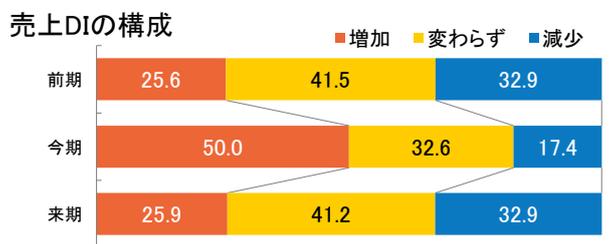
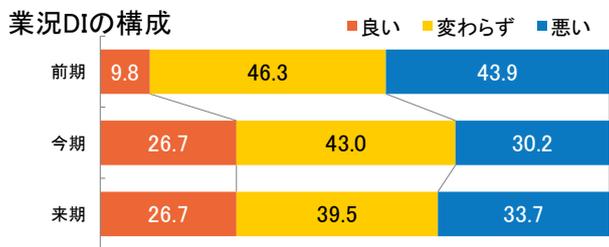
### 業況DI・売上DI・収益DIはそれぞれ大幅に改善

業況DIは、前期比29.0ポイント改善の▲3.5となりました。なお、前回調査時の今期予想DIである▲3.7を上回り、前年同期D Iの15.5を下回りました。来期については3.5ポイント悪化の▲7.0となる見通しです。

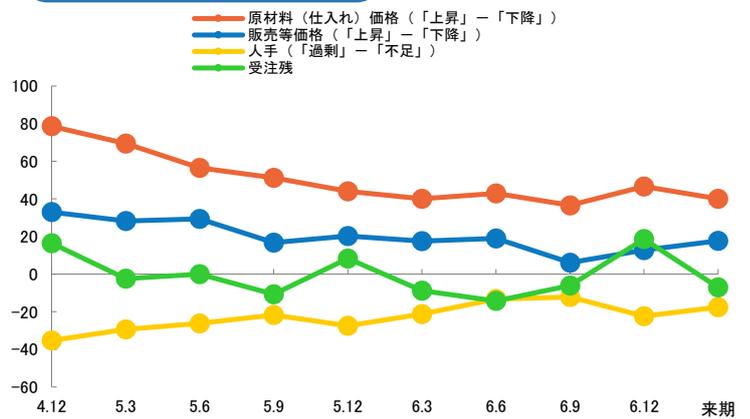
製造業 業況・売上・収益DIの推移



## 業況・売上・収益DI

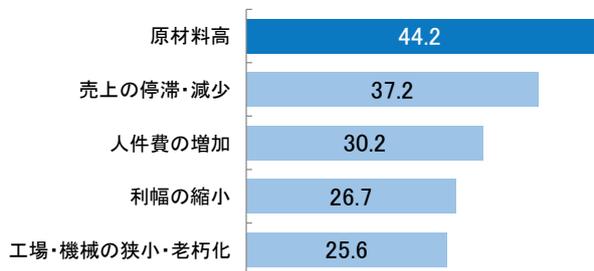


## その他の指標推移



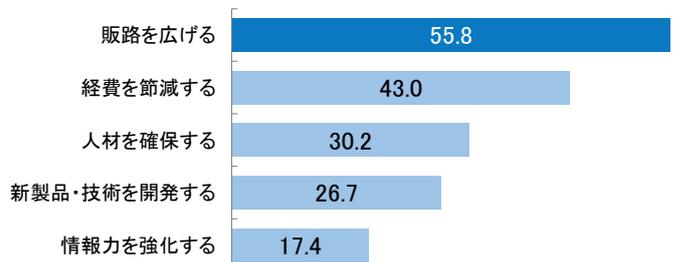
## 経営上の問題点

(複数回答、単位：%)



## 当面の重点経営施策

(複数回答、単位：%)

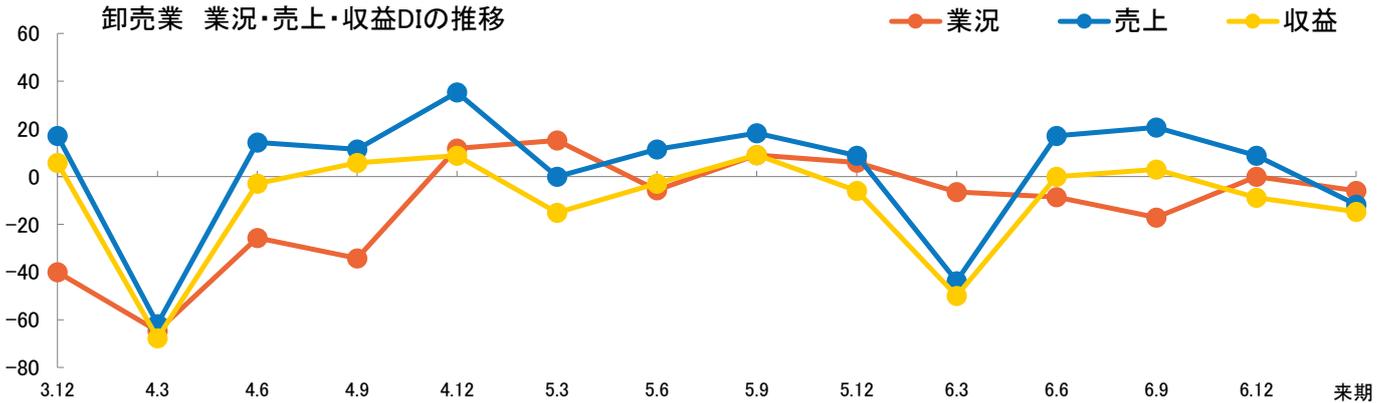


# 卸売業

## 景況

### 業況DIは大幅に改善、売上DI・収益DIはそれぞれ大幅に悪化

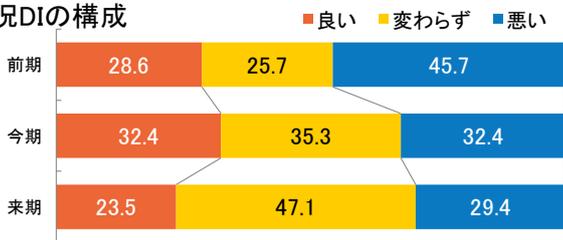
業況DIは、前期比17.1ポイント改善の0.0となりました。なお、前回調査時の今期予想DIである0.0に対し横ばいで、前年同期DIの5.9を下回りました。来期については、5.9ポイント悪化の▲5.9となる見通しです。



## 業況・売上・収益DI



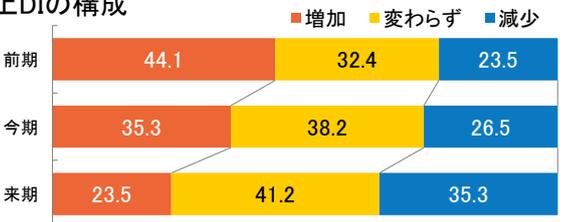
### 業況DIの構成



## 売上DI



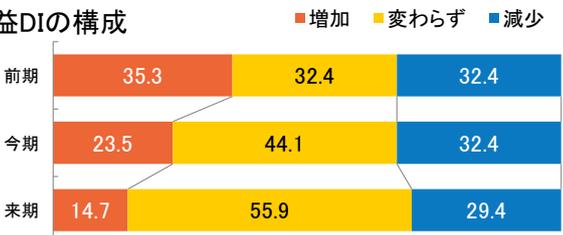
### 売上DIの構成



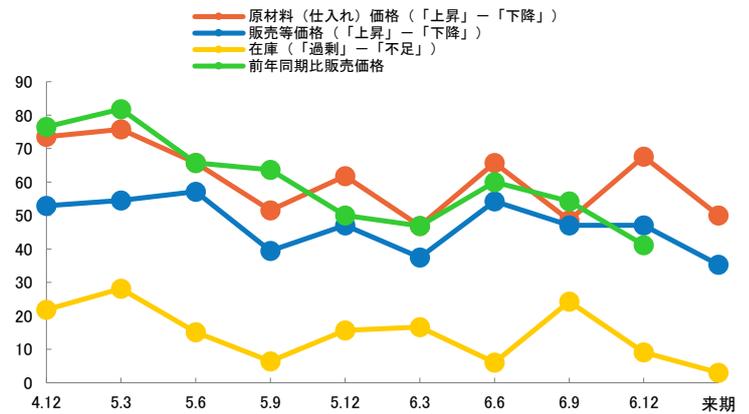
## 収益DI



### 収益DIの構成

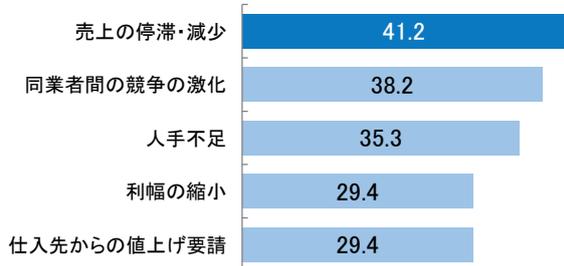


## その他の指標推移



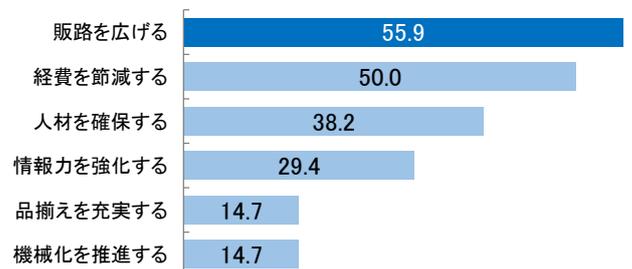
## 経営上の問題点

(複数回答、単位：%)



## 当面の重点経営施策

(複数回答、単位：%)



好調←



→低調

改善

横這い

悪化

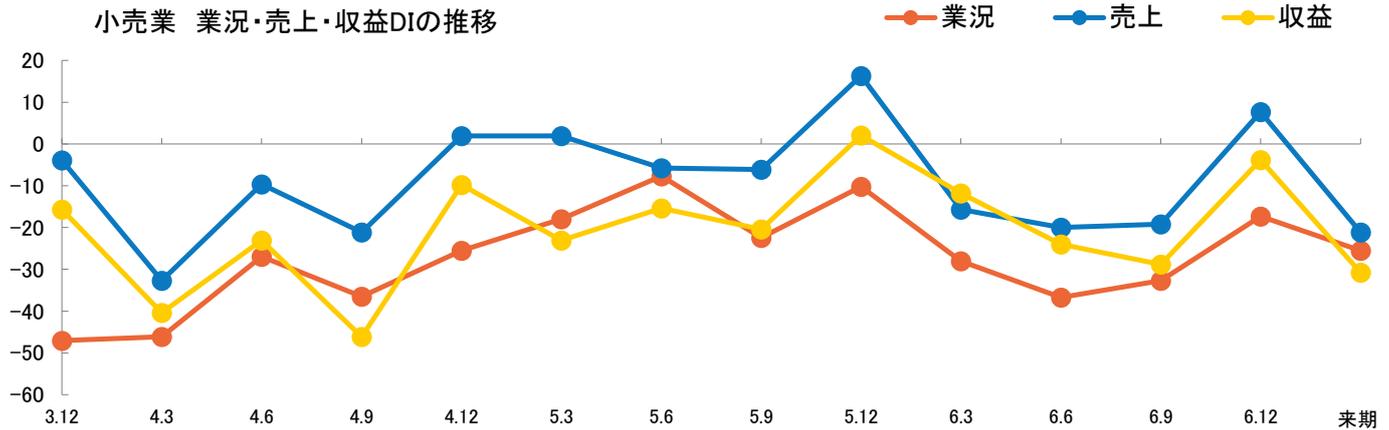


# 小 売 業

## 景 況

### 業況DI・売上DI・収益DIはそれぞれ大幅に改善

業況DIは、前期比15.4ポイント改善の▲17.3となりました。なお、前回調査時の今期予想DIである▲13.5を下回り、前年同期DIの▲10.2も下回りました。来期については、8.2ポイント悪化の▲25.5となる見通しです。

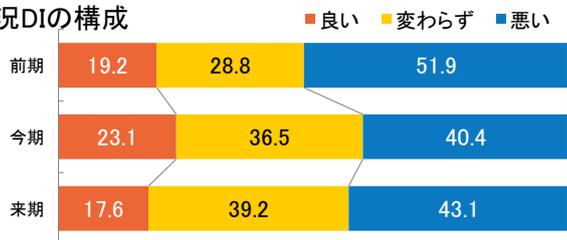


## 業況・売上・収益DI

### 業況DI



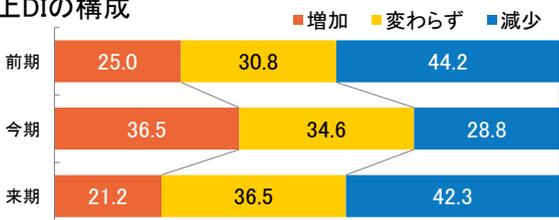
#### 業況DIの構成



### 売上DI



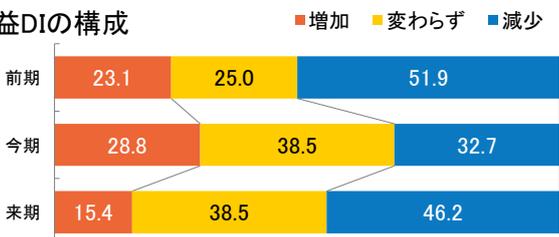
#### 売上DIの構成



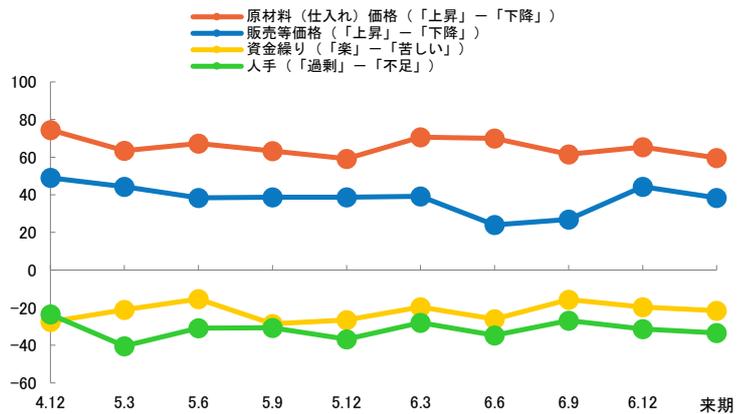
### 収益DI



#### 収益DIの構成

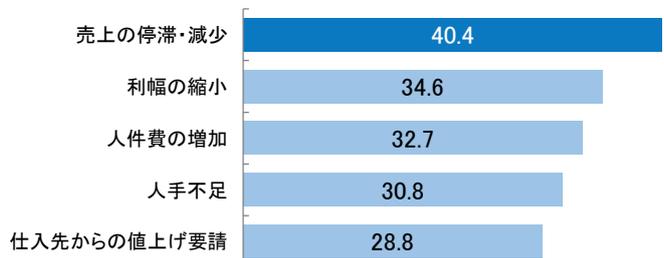


## その他の指標推移



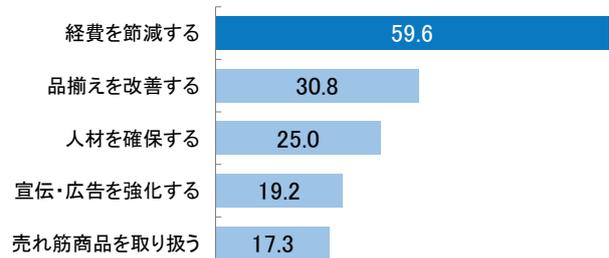
## 経営上の問題点

(複数回答、単位:%)



## 当面の重点経営施策

(複数回答、単位:%)



好調←



→低調

改善

横這い

悪化



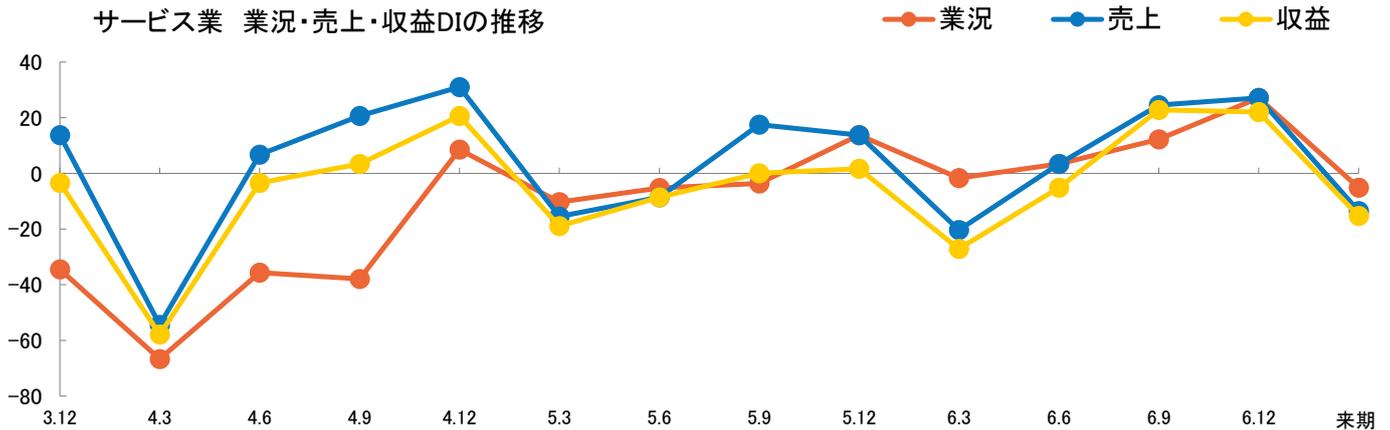
# サービス業

## 景況

### 業況DIは大幅に改善、売上DIはやや改善、収益DIはやや悪化

業況DIは、前期比14.8ポイント改善の27.1となりました。なお、前回調査時の今期予想DIである7.0を上回り、前年同期DIの13.8も上回りました。来期については、32.2ポイント悪化の▲5.1となる見通しです。

サービス業 業況・売上・収益DIの推移

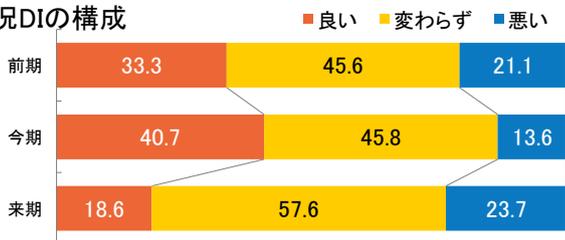


## 業況・売上・収益DI

### 業況DI



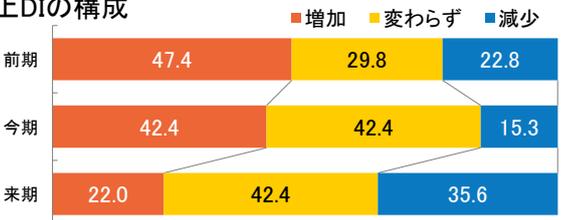
業況DIの構成



### 売上DI



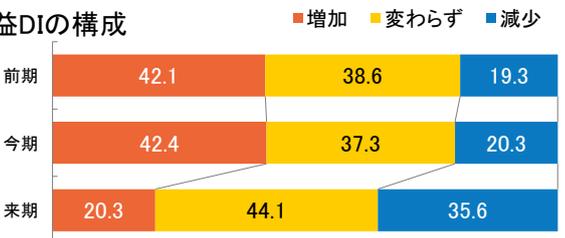
売上DIの構成



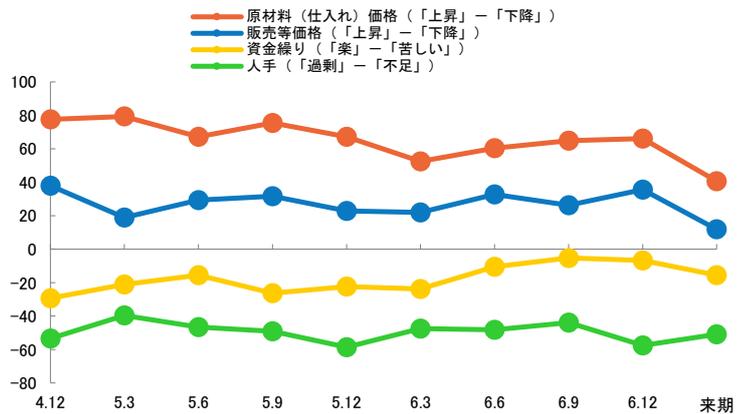
### 収益DI



収益DIの構成

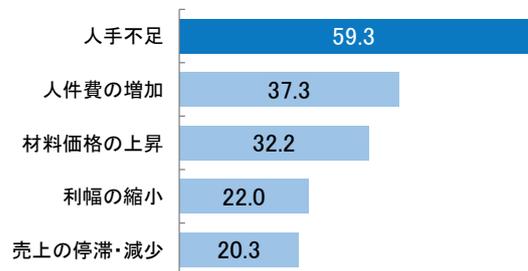


## その他の指標推移



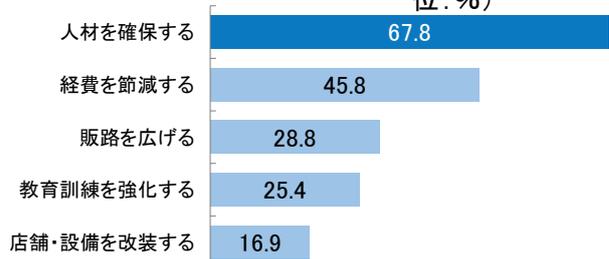
## 経営上の問題点

(複数回答、単位：%)



## 当面の重点経営施策

(複数回答、単位：%)



好調←



→低調

改善



横這い



悪化



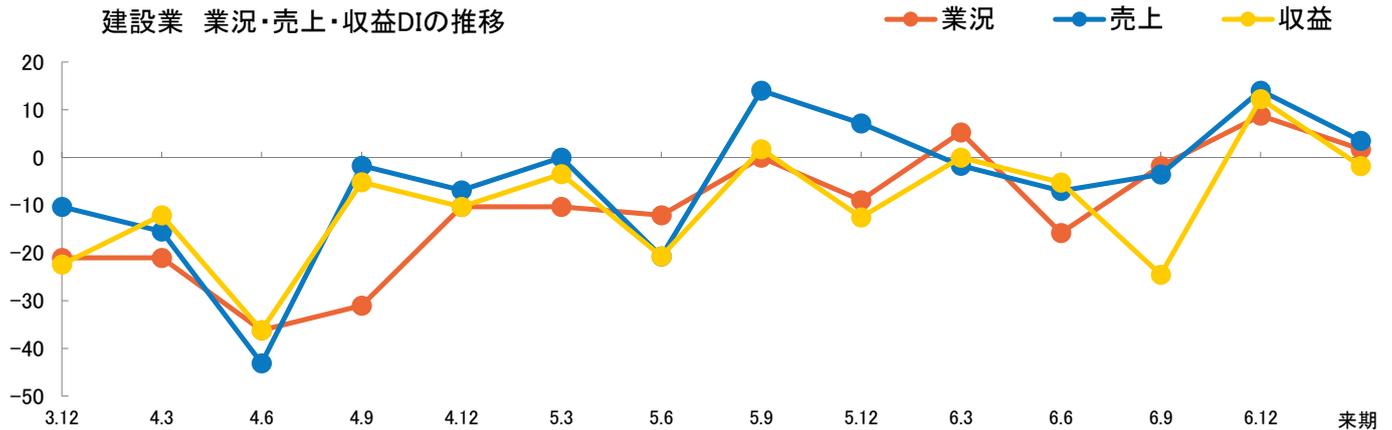
# 建設業

## 景況

### 業況DI・売上DI・収益DIはそれぞれ大幅に改善

業況DIは、前期比8.8ポイント改善の8.8となりました。なお、前回調査時の今期予想DIである▲5.4を上回り、前年同期DIの▲8.9も上回りました。来期については、7.0ポイント悪化の1.8となる見通しです。

建設業 業況・売上・収益DIの推移

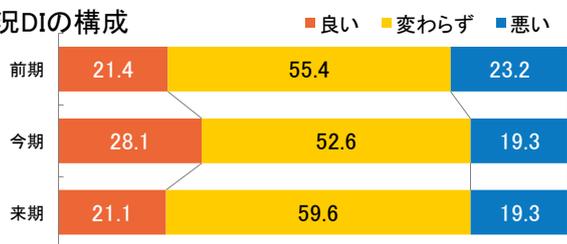


## 業況・売上・収益DI

### 業況DI



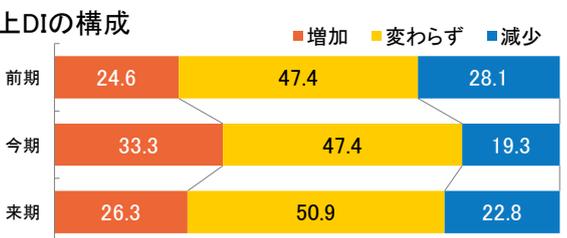
業況DIの構成



### 売上DI



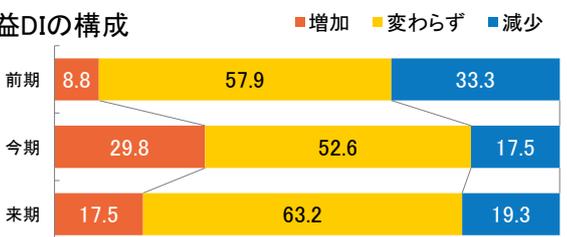
売上DIの構成



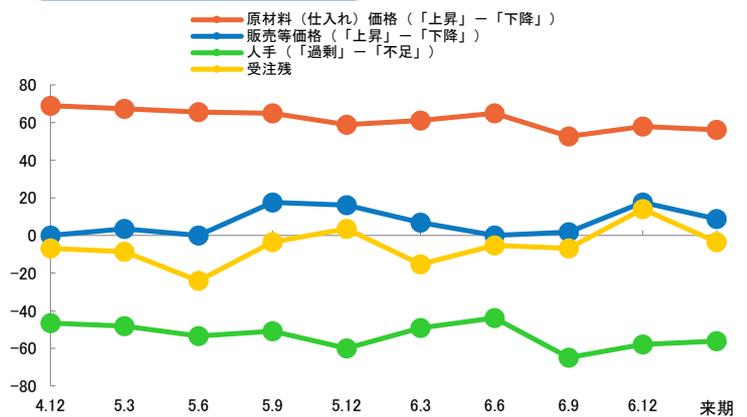
### 収益DI



収益DIの構成

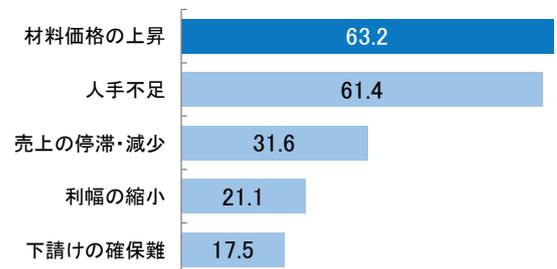


## その他の指標推移



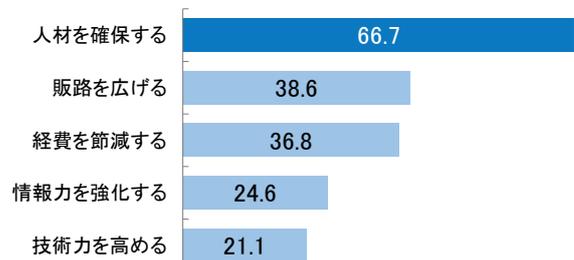
## 経営上の問題点

(複数回答、単位：%)



## 当面の重点経営施策

(複数回答、単位：%)



好調←



→低調

改善

横這い

悪化



# 不動産業

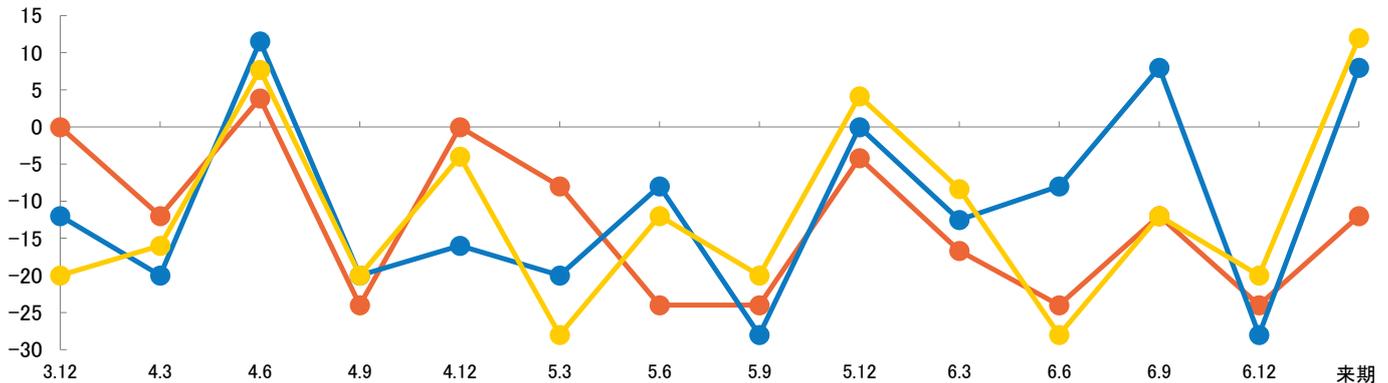
## 景況

### 業況DI・売上DIはそれぞれ大幅に悪化、収益DIは悪化

業況DIは、前期比12.0ポイント悪化の▲24.0となりました。なお、前回調査時の今期予想DIである▲24.0に対し横ばいで、前年同期DIの▲4.2を下回りました。来期については、12.0ポイント改善の▲12.0となる見通しです。

不動産業 業況・売上・収益DIの推移

● 業況 ● 売上 ● 収益



## 業況・売上・収益DI

### 業況DI



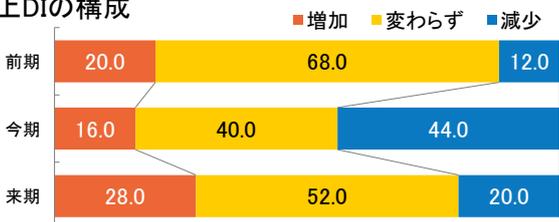
業況DIの構成



### 売上DI



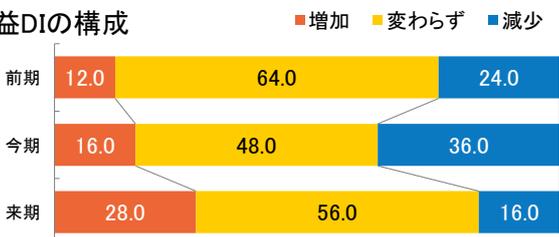
売上DIの構成



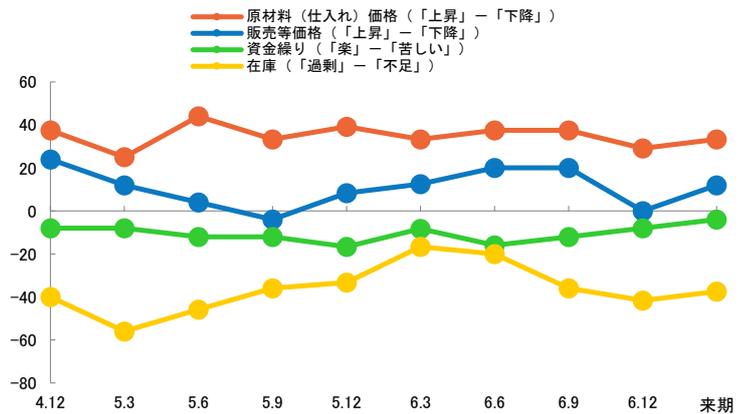
### 収益DI



収益DIの構成

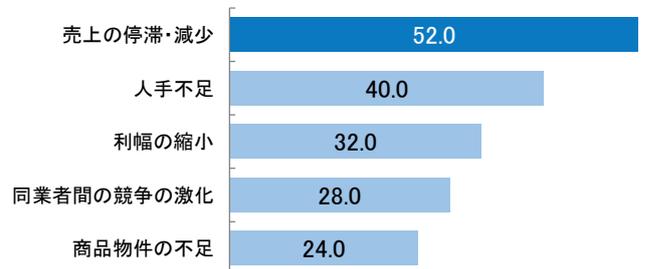


## その他の指標推移



## 経営上の問題点

(複数回答、単位：%)



## 当面の重点経営施策

(複数回答、単位：%)



好調←



→低調

改善



横這い



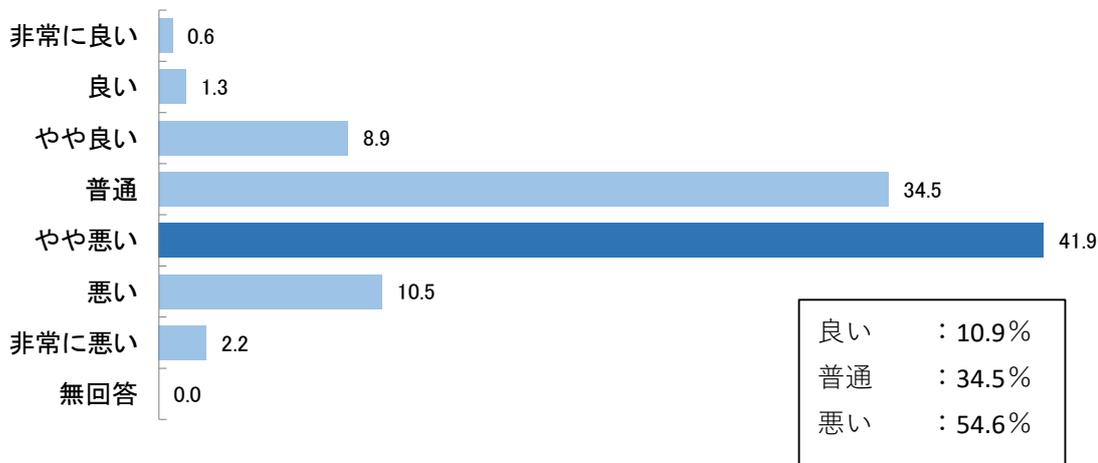
悪化



問1

貴社では、2025年の日本の景気をどのように見通していますか。(1つ回答)

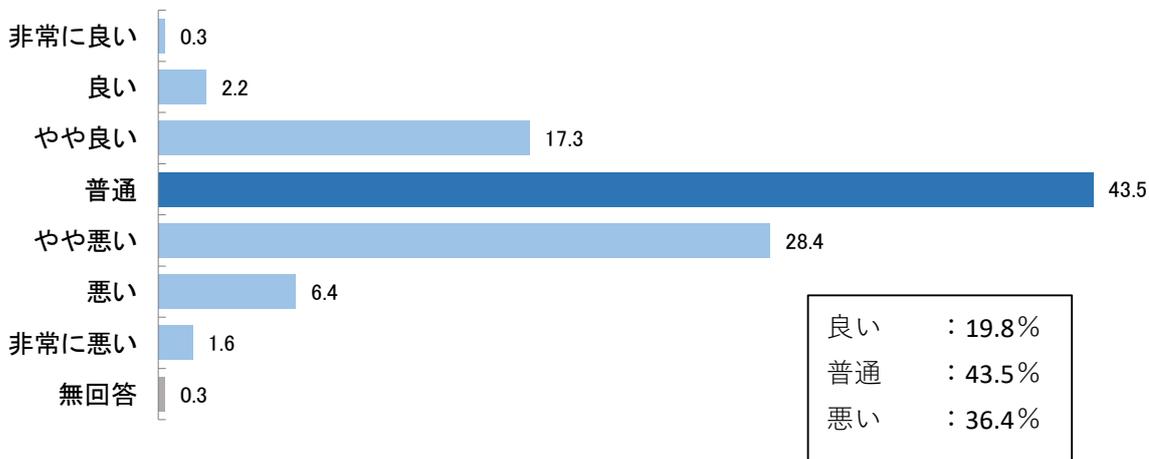
(単位:%)



問2

貴社では、2025年の自社の業況(景気)をどのように見通していますか。(1つ回答)

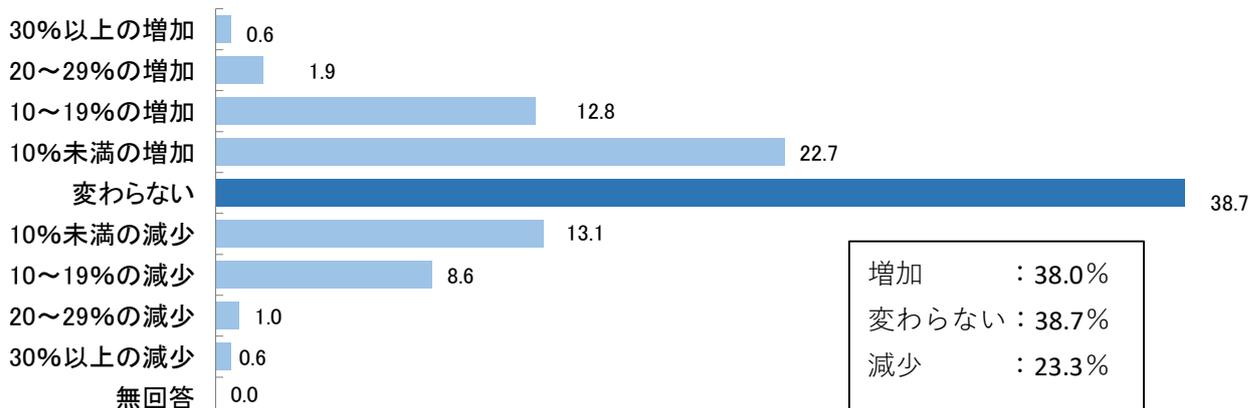
(単位:%)



問3

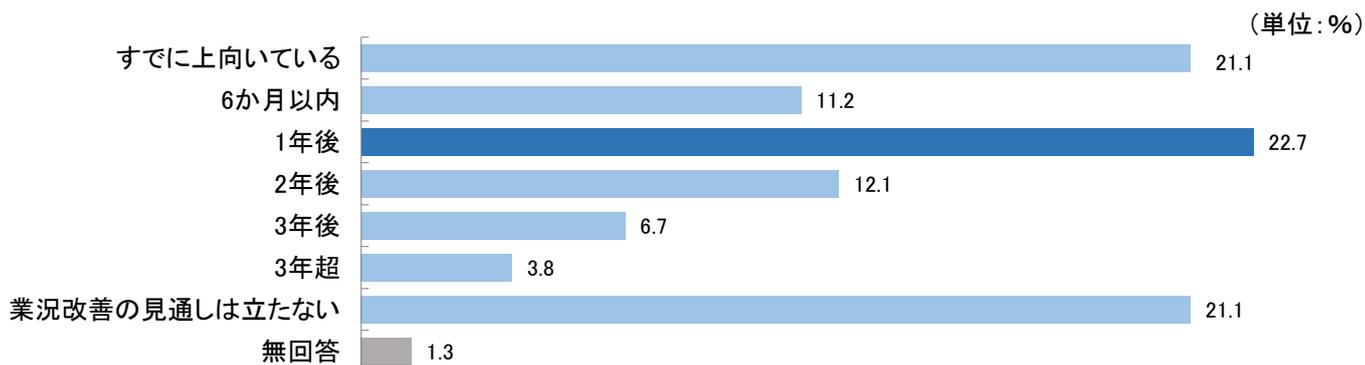
2025年において貴社の売上額の伸び率は、2024年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。(1つ回答)

(単位:%)



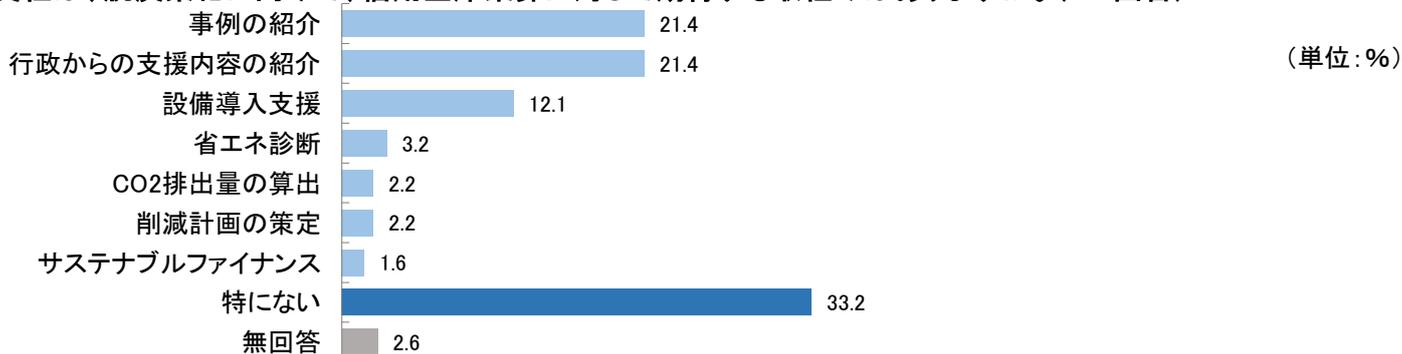
## 問4

貴社では、自社の業況が上向き転換点をいつ頃になると見通していますか。(1つ回答)



## 問5

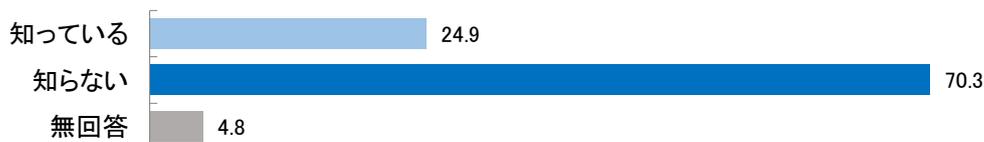
貴社は、脱炭素化に向けて、信用金庫業界に対して期待する取組みはありますか。(1つ回答)



また、貴社は、信用金庫業界が地域のために積極的に以下の脱炭素化に向けた取組みを行っていることを知っていますか。(1つ回答)

### 脱炭素化に向けた信用金庫業界の取組みの事例

情報提供：コスト削減事例の紹介、行政からの支援内容の紹介  
 現状把握：CO<sub>2</sub>排出量の算出サービスの紹介  
 計画策定：省エネ診断の紹介、CO<sub>2</sub>排出量削減計画の策定支援  
 対策実行：LED・高効率空調・太陽光発電の導入支援  
 資金供給：サステナブルファイナンス（SDGs・脱炭素化対応融資）



### 特別調査に関する営業店のコメント

- 2025年の日本の景気については、物価高等の影響を加味してかやや悪いと回答する事業者が多かった。一方で自社の景気については、回答している日本全体の景況感よりも一段良い「普通～やや良い」と回答する事業者が多かった。
- 信用金庫業界で取り組む事例があまり認知されておらず、また脱炭素化への取組みへの関心が低い事業者が多く、脱炭素についての啓蒙活動が必要であると感じる。

あなたのオフィスで  
お金のプロになんでも相談&解決!



お金が  
貯まらない…

「NISA」「iDeCo」  
って何?



安心して  
生活できるお金って  
一体いくら?

家を買いたい!  
いくら借りられる?



さがみ信用金庫の

# お金の相談会

お金の心配ごとをプロに相談しませんか?  
知っておくと助かる お金の勉強をはじめましょう!

わかりやすく  
お伝えします

＼ どんなご相談も歓迎! 最適なアドバイスをご提供! ／



- 将来に向けてお金の運用を始めたい
- ライフプランニング
- マイホームやマイカーを購入したい
- 教育資金について
- ケガや病気など不測の事態に備えたい
- 将来の年金について

お取引店舗または営業担当者までご相談ください

## さがみ信用金庫

総合企画部

TEL : 0465-24-3162

E-mail : souki@sagami-shinkin.co.jp

バックナンバーは当金庫ホームページをご覧ください

さがみ信用金庫 景気動向調査

検索

さがみ信用金庫ホームページ

URL : <https://www.shinkin.co.jp/sagami/about/keikidoukou.shtml>

